REGUNANTO 1x6

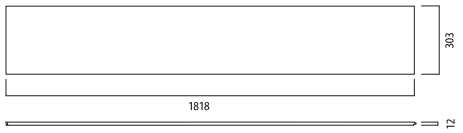
二重床仕上げ用フローリング 施工要領（床暖房なし）

1. 適用範囲

本要領書は二重床下地材上に敷設施工を行う突き板貼り複合フローリング「レグナント・イチロク」について適用します。

2. 製品構成

・天然木突板0.3㎜表面仕上げ・基材ロンググレイン合板・F☆☆☆☆仕様



●製品名：レグナント・イチロク　●寸法：12㎜厚×303㎜幅×1818長さ
●梱包形態：6枚/ケース・3.3m2入り

3. 製品の確認

本品は天然銘木化粧合版ですので、1枚１枚色柄が多少異なります。各板毎に多少色合いが異なります。施工前に必ず仮並べをして、全体の色調のバランスをとり、配列調整を行って下さい。梱包を開梱後は速やかに施工をして下さい。開梱後長時間放置されますと、寸法安定性が損なわれることがあります。製品の施工現場での、管理は、水濡れ・湿気等のない冷暗所にて保管してください。

4. 製品の割付

部屋寸法を予め測って床材を小片で貼り込むことのないように割付を行ってください。ズラシ幅は909㎜にすると規則正しく配列され綺麗に仕上がります。巾木原則として後は巾木として下さい。床材の壁際の納めは、壁3～5㎜程度の隙間を設けてください。フローリングの伸縮を吸収することが出来ます。納めの部分にくさびを打ち込むことにより隙間を設けてください。先巾木することは避けてください。先巾木とした場合、フローリングの伸縮により、フローリングの浮きや床鳴りの原因となります。

5. 下地面の調整

下地（合板等）の間の段差が無く、床鳴りなどの不具合がないことを確認して下さい。万が一不具合があれば段差払い床鳴り解消の適切な処理を行って下さい。その上で仕上げ材の施工を行って下さい。
下地には12㎜以上の耐水合板を捨て貼りして下さい。本製品は釘打ち・ボンド併用施工です。

6.釘・接着剤について

釘はフローリング用スクリュー釘（長さ38㎜以上）を使用し、釘打ちを行ってください。また、ウレタン系接着剤（木質フローリング・階段専用接着剤）を用いて接着剤/釘併用の施工としてください。
木工用ボンド（白ボンド）、通常釘、フィニッシュネイルは使用しないで下さい。

施 施 手 順

1. 墨だし

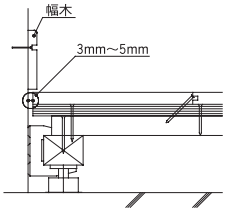
貼り出しは必ず左隅から始めてください。貼り始め（第一列）の基準線を決めます。このとき、部屋の寸法を予め測って床材を小片で貼り込む事のないように割付けを行ってください。下地合板の継ぎ目とフローリング実部が合わないように注意してください。

2. 貼り始めの床材の切断

ケースから使用する床材を取り出し、部屋全体の色、柄のバランスを考え、仮並べをして配列調整を行って下さい。一列目の基準線に沿って床材を切断していきます。

3. 貼り付け

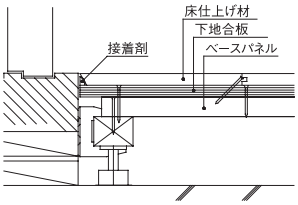
床材裏面にウレタン系接着剤（木質フローリング・階段専用接着剤）を塗布してください。フローリング用スクリュー釘（長さ38㎜以上）をフローリング実部に斜めうち（約45度程度の角度）で行ってください。長辺雄実（オンザネ）部の釘止め固定は、フローリング長辺雄実部を約300㎜ピッチで釘止めを行ってください。フローリング短辺はフローリング用スクリュー釘（長さ38㎜以上）を雌実（メスザネ）アゴ部に２箇所固定を行ってください。釘打ち固定を行う前に釘頭頂部の実部よりの突出あるいは雄実部下部の破損がないか確認下さい。釘頭の突出があれば、ポンチ等で確実に処理して下さい。フローリング実部の盛り上がりあるいはフローリングジョイント部の目地の隙間を発生します。ついで、次のフローリングを敷地します。フローリングは、ゴムハンマーかフローリングの雄実部荷当て木をしてハンマーでジョイント部に隙間のでないようにフローリングを打ち込んでください。



4. 貼り仕舞の施工

壁との寸法を正確に測り取り、壁際より3㎜～5㎜の隙間を設けて壁際部の納めを行って下さい。壁とフローリングが当たると床鳴りの原因となります。壁とフローリングの間に隙間を設けますので巾木は後付けとして下さい。

納め部のフローリングはウレタン系接着剤（木質フローリング・階段専用接着剤）の塗布及び釘打ち
併用の納めとしてください。和室等の敷居の取り合い部では専用接着剤のみの納めとなります。その際はフローリングを図のように斜めカットし敷居との取り合い部に接着剤を塗布して納めてください。



5. 仕上げ養生

施工完了後に、表面のゴミやほこりを取り除いてください。特に砂や小石があると傷の原因となります。また、床材に付着した接着剤は綺麗に拭き取ってください。硬化後では取れなくなります。清掃後に養生シートを敷き、養生テープで全周囲をとめてください。又、クラフトテープ、布テープでは表面の変色や剥がれの原因となりますので養生テープをご使用下さい。
※養生テープは使用する前に粘着力が問題ないか目立たないところで確認してからご使用ください。

6. 施行後の注意

・長時間雨露に曝されますと、床材の表面の変色や腐れの原因となりますのでご注意下さい。
ピアノ等の支持部の局所荷重に対してはパッドなどを使用して荷重分散をして下さい。

フローリングのメンテナンスについて

・普段のお手入れは掃除機、ほうき、乾いた雑巾でホコリや汚れを取り除いて下さい。
・水に塗れた場合はすみやかに拭き取り、乾いた布で充分に水気を取り除いて下さい。
・ポリッシャーなどでの洗浄液散布型の洗浄はご遠慮ください。目地部分より水分が浸透し、反りや単板のふくれが発生する恐れがあります。

ワックスがけの必要はありません。
お客様の都合にワックスがけされる場合、樹脂製のもをご使用ください。（推奨：リンレイ製ハイテクフローリングコート）
表面が平滑なので塗りムラにご注意ください。
※水濡れや塗布量が多いと、基材が膨潤し、表面が膨れたり、はがれが発生する場合がございますのでご注意ください。

ご注意

●ワックスは絶対に床の上に流さないでください。
●ワックスはきれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞って床面に薄くムラなく塗りひろげてください。
●容器の下にはビニール等を敷いて下さい。
●床面にワックスを流したり、しずくが落ちる様な布で塗ると部分的にフロア表面美観を損ねることがあります。
●ワックスをかけるときは、床面が充分に乾燥している（水気がない）事を確認して下さい。
●ワックスがけの前後で化学雑巾は使用しないで下さい。床の表面が、白っぽくなる原因となります。
●室内の温度が5℃以下のときや、雨の日で湿度が極端に高いときは、ワックスは使用しないで下さい。床の表面が、白っぽくなる原因となります。
●詳細はそれぞれの商品に付属されている取扱説明書、またはメーカーにお問い合わせ下さい。